

日米関係の今後の展開と日本の外交

平成23年3月

は し が き

本報告書は当研究所が平成 22 年度の研究プロジェクトの一つとして実施した「日米関係の今後の展開と日本の外交」についての二つの研究グループによる研究成果をまとめたものです。

本プロジェクトにおいては、特に日米関係・日本外交の現状と今後の展望に焦点をあて、当該分野に詳しい専門家を結集して日米関係の今後の展開と日本の外交につき多角的に分析・検討する研究会を設置し研究を行ってまいりました。本報告書はその成果として、研究会合での報告・討議、海外調査出張、シンポジウムでの意見交換などで得られた知見をもとに、わが国の対米政策をより有効なものとするための政策提言の一助とすべく「調査報告書」としてまとめたものです。

本研究プロジェクトは現実の政策立案への貢献を目指すものであると同時に、本研究プロジェクトの実施を通じて日本にある外交政策シンクタンクの役割と機能を一層強化することを目指すものでもあります。この目標のもとに 2010 年度においては研究会合での報告・討議、海外調査出張、シンポジウムでの意見交換などを鋭意実施し、そこでの知見をもとに同盟に関する新たな視点を数多く盛り込んだ「調査報告書」として、本報告書をまとめることができました。

ここに表明されている見解はすべて個人のものであり当研究所の意見を代表するものではありません。しかし、このような成果が日本の外交政策の未来を考える上での意義ある一助となることを心から期待するものであります。

最後に、本研究に積極的に取り組まれ、報告書の作成に尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し改めて深甚なる謝意を表します。

平成 23 年 3 月

財団法人日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

委員兼幹事：	齋木 尚子	日本国際問題研究所副所長兼主任研究員
	西川 賢	日本国際問題研究所研究員
	福田 保	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	高澤 洋志	日本国際問題研究所研究助手

【ワーキング・グループ1】

主 査：	久保 文明	東京大学大学院法学政治学研究科教授 日本国際問題研究所客員研究員
委 員：	阿部 純一	霞山会主席研究員
	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター准教授
	石川 卓	防衛大学校国際関係学科准教授
	岩間 陽子	政策研究大学院大学教授
	神谷 万丈	防衛大学校国際関係学科教授
	倉田 秀也	防衛大学校国際関係学科教授 日本国際問題研究所客員研究員
	佐々木 卓也	立教大学法学部教授
	中山 俊宏	青山学院大学国際政治経済学部教授 日本国際問題研究所客員研究員
	細谷 雄一	慶應義塾大学法学部准教授

【ワーキング・グループ2】

主 査：	添谷 芳秀	慶應義塾大学法学部教授
委 員：	秋山 信将	一橋大学大学院法学研究科准教授 日本国際問題研究所客員研究員
	信田 智人	国際大学研究所教授
	神保 謙	慶應義塾大学総合政策学部准教授
	平岩 俊司	関西学院大学国際学部教授
	星野 俊也	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

目 次

序 文	野上義二	1
第一部 アメリカ外交にとっての同盟		
第一章 アメリカ外交にとっての同盟と日米同盟		
—一つの見取り図	久保文明	7
第二章 アメリカ外交の伝統・理念と日米同盟の形成	佐々木卓也	17
第三章 「アメリカ外交にとっての同盟」と同盟理論	石川卓	29
第四章 価値と同盟—アメリカ外交にとっての価値	中山俊宏	43
第五章 米国多国間同盟と抑止戦略	岩間陽子	53
第六章 米英関係とアメリカ外交		
—「特別な関係」の歴史と実際	細谷雄一	63
第七章 米韓同盟と「戦時」作戦統制権返還問題		
—冷戦終結後の原型と変則的展開	倉田秀也	75
第八章 米台「非公式」同盟—崩れつつある前提と台湾の行方	阿部純一	93
第九章 アラブ民主化による米国の対中東同盟政策の再定義	池内恵	105
第十章 東南アジアにおける米国同盟—米比同盟を中心に	福田保	113
第十一章 日本の安全保障政策と日米同盟		
—冷戦後の展開と今後の課題	神谷万丈	123
第二部 公共財としての日米同盟と日本の役割		
第一章 公共財としての日米同盟—総論	添谷芳秀	141
第二章 「グローバルな公共領域」における日米同盟協力	星野俊也	153
第三章 核不拡散・核セキュリティにおける「同盟」の意義	秋山信将	163
第四章 アジア太平洋の地域安全保障アーキテクチャと日米同盟	神保謙	177
第五章 公共財としての日米同盟と日本の役割—朝鮮半島関係	平岩俊司	189
第六章 公共財としての日米同盟と日本の役割—中国関係	信田智人	199
総 括	野上義二	215
付 録		
補遺一 シンポジウム議事録		219
『同盟を考える—平成 22 年度 日本国際問題研究所 研究プロジェクト中間成果公表会』		
補遺二 参考文献解題	西川賢	285